

## 第 28 回 議員定数等議会改革推進特別委員会

日 時：令和 3 年 6 月 4 日(金)  
全員協議会終了後  
時 分 ～ 時 分  
場 所：全員協議会室

【出席者】 牛尾委員長、西川副委員長、沖田委員、小川委員、笹田委員、佐々木委員  
西田委員、西村委員

【議長・委員外議員】

【事務局】 古森局長、下間書記、近重議事係長

---

### 議 題

- 1 市議会議員を目指す若者や女性の育成、議員数の男女比率について
- 2 行政視察報告の実施について
- 3 政策サポーター制度について
- 4 文書質問の制度化について
- 5 はまだ議会だより読者アンケートに寄せられた意見等への対応協議について
- 6 その他

# 1 市議会議員を目指す若者や女性の育成、議員数の男女比率について

## ▼ 5月17日の特別委員会での委員の意見を要約

### ①（小川委員）

・浜田青年会議所主催で市内3校のアイデアを持ち寄って政策甲子園を開催していたが、そのアイデアが活かされていなかった。それを議会が受け止めて、陳情や請願もしくは、一日議会につなげるようにし、市政に反映すれば、主権者教育と議会教育に結び付く。

・職場環境の整備が重要で、落選したら元の職場復帰ができれば立候補しやすくなると思う。上越市の制度を研究したい。

### ②（西田委員）

・議員になる環境づくりが重要で、幼児・小学校・中学校・高校生くらいで、ふるさと郷育や地域体験をしっかりとやると、社会人になった時に、地域の為に何が必要の気つきにつながり、自ずと議会に関心がわく。

### ③（西川委員）

・男女比よりも、多様な人材確保が大事だ。議会広報広聴委員会と一緒に議会改革をやっていく。

### ④（沖田委員）

・小学校から租税教室の出前授業の依頼があったが、議会が出前授業してはどうか。

### ⑤（西村委員）

・数字を掲げて、目標設定してはどうか。

### ⑥（佐々木委員）

・県監査の会合で、県市議会は浜田市議会に学べ、町議会は吉賀町に学べと言われた。色々な活動が評価されたと思う。それが市民に伝われば、議会に対する興味・考え方も変わると思う。広報広聴機能や所管事務調査を通して、市民と関わりが深まれば議員に対して興味がわく。モニター制度・サポーター制度・市民一日議会・出前講座など関わりを多く持つことが大事である。

### ⑦（笹田委員）

・多様な人材が議員になりやすい環境を整える事が大事である。上越市議会の様な、検討会で議論することも大事である。改選期までわずかであり、以上の事を来期でしっかりやって欲しい。

### ⑧（牛尾委員）

・多様な人材を求めるために、市民との関わり合いを設定する。例えば、中学生議会・高校生議会・女性議会・市民一日議会・議会出前講座などを通じて出た意見について、議会熟議を経た後に議会で取り上げる。様々な市民参加のステージ作りを定期的に議会主導でやっていく。以上の事を改選後の議会でも検討してもらおう。

## (案)

上記の委員の意見を踏まえ、大きな柱（項目）を作り、委員の意見等を区分けすることにより、文言の肉付けをしていき、次期改選後の委員会において具体的に検討してもらうことを申し送る。

(例) 下記の柱（項目）の文言も委員会で要検討(1と3の内容は重複あり)

### 1. 住民参加の工夫と住民参加の機会促進 (①⑥⑦⑧)

住民にとって議会や議員がどのような活動を行っているのかが分かりにくいいため、議会に対する理解や信頼が得られていないという面がある。住民の議会や議員の活動に対する認識を深め、その役割について十分な理解を得てもらうことが重要である。また、議会が住民からの要望、提言その他の意見を広く聴取し、多様な民意を市政へ反映する役割があることを理解してもらうための工夫とその機会を積極的につくることが重要である。このための手段として、高校生による政策甲子園、はまだ市民一日議会、モニター制度やサポーター制度等、様々な住民参加の機会を工夫し検討されたい。@@@@@

### 2. 議員への立候補環境の整備 (①)

議員に立候補した者が休暇を取得するなどした場合に解雇や配置転換等の不利益な取り扱いを受けることがないような環境や落選した場合にも職場復帰できるような職場環境の整備について調査研究されたい。@@@@@

### 3. 議会による主権者教育やシティズンシップ教育の推進 (②④⑥⑧)

幼児・小学生・中学生・高校生の時から主権者教育をはじめ、ふるさと郷育や地域体験等、様々な機会に触れることを通じて、将来、地域のために何が必要で、何が自分にできるかの気づきを持ってもらったり、議会や議員の役割に対する理解を得たりすることにより、政治や議会に関心をもってもらうことが重要である。このため、小中高校生や大学生等を対象とした模擬議会の開催や教育現場に議員が直接出向いて講義する議会出前講座等の開催を検討されたい。@@@@@

### 4. @@@@@

#### 【参考】

##### \*主権者教育

国や社会の問題を自分の問題として捉え、自ら考え判断し、行動していく主権者を育成する教育のこと

##### \*シティズンシップ教育

市民として必要な要素を備え、市民としての役割を果たせるようになることを目指す教育のこと

##### \*キャリア教育

一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通じてキャリア発達を促す教育のこと

## 2 行政視察報告の実施について

### ▼ 5月17日の特別委員会での委員の意見を要約

#### ①（沖田委員）

- ・やるべき。全員協議会などで。

#### ②（佐々木委員）

- ・やるべき。浜田市の問題点について、先進市に学び結果を市民に報告し、視察同行しなかった議員や執行部と共有する。

#### ③（小川議員）

- ・やるべき。開催のタイミングと形を詰めるべき。

#### ④（西田議員）

- ・全て報告するのではなく、市議会にとって、新たな政策提言出来る案件は、一般質問や代表質問ではなく、議会全員でやるべき。開催は、上下半期か四半期ごとにやれば。

#### ⑤（笹田議員）

- ・やるべき。やりかたは、しっかり議論すべき。

#### ⑥（西村議員）

- ・やるべき。委員会提案が十分活かされていない。もっと、気軽に政策提言出来れば。行政視察を自分の活動に取り入れられるようになれば。

#### ⑦（西川副委員長）

- ・視察の報告だけだと、意味がない。視察から政策提言に至る過程を最終的な目標設定にしてはどうか。

#### ⑧（牛尾議員）

- ・「本来の視察報告のあり方」がどうあるべきかが、目指す方向ではないか。

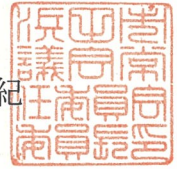
#### ⑨（書記）

- ・日向市議会の例のように視察に参加してない議員・住民・職員にプレゼンテーション方式で説明すれば、わかりやすい。視察直後の全員協議会で報告すると全議員にも執行部にも周知はできる。また、ホームページでプレゼンテーション時の資料を公開することで住民への周知も可能。議会改革実践マニュアルの図書によると、①課題の設定②視察実施③考察する④自身の地域で実行して⑤評価・課題・取り組み全体の報告を行うべき。とあり、その上でさらに、⑥として「市政への政策提言に生かす」ということにつなげるのが理想だと思う。

令和 3 年 5 月 20 日

総務文教委員長 西 村 健 様  
福祉環境委員長 柳 楽 真智子 様  
産業建設委員長 串 崎 利 行 様  
議員定数等議会改革推進特別委員長 牛 尾 昭 様  
自治区制度等行財政改革推進特別委員長 澁 谷 幹 雄 様  
議会運営委員長 笹 田 卓 様

議会広報広聴委員会  
委員長 三 浦 大 紀



はまだ議会だより読者アンケートに寄せられた意見等への対応協議について

令和 3 年 4 月 12 日の全員協議会で確認した標記案件について、令和 2 年 5 月 1 日発行のはまだ議会だより Vol. 58 から Vol. 60（令和 3 年 2 月 1 日発行）で実施した読者アンケートに寄せられた意見について、別添意見等一覧表を提供いたします。

お忙しいところ恐縮ですが、貴委員会にて議会としての対応をご協議いただき、協議経過及び結果を令和 3 年 6 月 21 日（月）までにご報告くださいますようお願いいたします。

報告いただいた内容は、令和 3 年 9 月 1 日発行予定のはまだ議会だより Vol. 62 において「読者アンケート特集ページ」に掲載します（別添の掲載イメージをご参照ください）。

また、貴委員会において、はまだ議会だよりの読者に向けてアンケート調査を行いたい項目があれば、議会広報広聴委員会までお知らせください。

# 読者アンケート意見対応報告

議員定数等議会改革推進特別委員会

No. (号)	意見	対応経過及び結果
5 (58)	ウェブ会議による情報共有と意見交換と集約は評価できる。	
8 (58)	聞いてみたいことがあってもどなたに聞いたらいいのかわかりません。選挙の時は近い感じがしますけれど。	
9 (58)	アンケートの調査結果を表されたが、Q5、Q6 がいかに反映されるか？ 議員の中には二足の草鞋で職務は全うできるのか。また、資質は？ 元年歳出の科目中、市職員・議員に払われるものはどこに表されているのか？市民は理解できているのか？	
12 (58)	定数を削減し、そのお金で議員の報酬を上げ、若い議員の成り手を望む。	
17 (59)	本会議をテレビで見ることがあるが、スマホを使っている人もいる。議会はタブレットがあるのにスマホも必要なのか。	
19 (59)	議員定数削減のアンケートに参加しました。アンケート結果は 18 名が多数を占めたと聞いていますが、議員の皆様はその結果を考慮されないのでしょうか!!	
23 (59)	1. 一般質問の姿勢について 質問に入る前に、関係のない話をされるが、真面目さが感じられない。	

# 特集 はまだ議会だより読者アンケート

## 読者アンケート 取扱い方法の説明

Vol. 60 (令和3年2月1日発行)

意見概要	所管委員会	対応経過及び結果

Vol. 61 (令和3年5月1日発行)

意見概要	所管委員会	対応経過及び結果

## Vol. 62 の読者アンケート

Vol. 58 (令和2年9月1日発行)

意見概要	所管委員会	対応経過及び結果

Vol. 59 (令和2年11月1日発行)

意見概要	所管委員会	対応経過及び結果



## 読者アンケート意見対応報告

議員定数等議会改革推進特別委員会

No. (号)	意見	対応経過及び結果	正副委員長案
5 (58)	ウェブ会議による情報共有と意見交換と集約は評価できる。		【委員長案】 ありがとうございます。今後も研究し可能なことから進めていきたいと思えます。
8 (58)	聞いてみたいことがあってもどなたに聞いたらいいのか分かりません。選挙の時は近い感じがしますけれど。		【副委員長案】 議長なんでもメールと、まちづくりセンターへ設置しているアンケート回収箱について、周知を徹底し活用を図る。
9 (58)	アンケートの調査結果を表されたが、Q5、Q6がいかにか反映されるか？ 議員の中には二足の草鞋で職務は全うできるのか。また、資質は？ 元年歳出の科目中、市職員・議員に払われるものはどこに表されているのか？ 市民は理解できているのか？ Q5・・・あなたの声が届く議員が何人いますか。 Q6・・・議員定数は何人が適当だと思いますか。		【委員長案】 この度の議員定数については、いただいたアンケート結果を踏まえ特別委員会で協議を重ね決定いたしました。多様な経験を持つ議員の存在が、各自の能力をさらに発揮できるものと考えています。資質についてのご意見については、4年ごとの選挙でその結果が出ているものと考えます。職員給与や議員報酬については、広報はまだ（令和3年3月号）に掲載されております。
12 (58)	定数を削減し、そのお金で議員の報酬を上げ、若い議員の成り手を望む。		【委員長案】 貴重なご意見ありがとうございます。いただいたご意見については今後の課題とし調査研究してまいります。
17 (59)	本会議をテレビで見ることがあるが、スマホを使っている人もいる。議会はタブレットがあるのにスマホも必要なのか。		【副委員長案】 本会議へのスマホの携行は申し合わせで可とされているが、タブレット会議システムの導入によってスマホの利用の必要性が無くなったのかどうか、再検討する。
19 (59)	議員定数削減のアンケートに参加しました。アンケート結果は18名が多数を占めたと聞いていますが、議員の皆様はその結果を考慮されないのでしょうか!!		【委員長案】 いただいたアンケート結果を踏まえ、この度の議員定数を決定いたしました。各委員会において7名必要と判断しました。
23 (59)	1. 一般質問の姿勢について 質問に入る前に、関係のない話をされるが、真面目さが感じられない。		【副委員長案】 議員個人の問題ではあるが、市民の意見として全議員に周知する。

### ▼はまだ議会だよりの読者に向けてアンケート調査を行いたい項目

#### 【委員長案】

浜田市議会は合併後、議会改革に取り組んでいる。早稲田大学マニフェスト研究所主催のマニフェスト大賞で第3回では、審査員特別賞、翌4年では、優秀ホームページ賞ノミネート、現在のランキングが（全国1404県・市区町村議会）の中で87位、出雲市が177位、雲南市が270位、美郷町が272位で、県内ではその他の市町村は300位以内のランキングに入っていない。つまり議会が眠っているといわれている状態である。議会の活力は、ここ3回の定例会議において、全議員が質問に立ち、連続100%を達成するという快挙を成し遂げている。議会改革の到達点は、住民福祉の向上とされていますが、このような現状の浜田市議会に何を望まれますか。